

# 水戸市の消費者物価の概況 (昭和41年1月)

1月の水戸市の消費者物価指数は総合で137.9となり、前月の134.0に比較して2.9%の上昇となつた。これは前月まで低落していた野菜が品薄のため77.4%と反騰したこと、消費者米価の改訂により穀類が6.1%と上昇したのが主であり、加えて果物(3.4%)光熱(0.3%)なども上昇したためであるが、一方乳卵(-3.7%)、乾物(-3.1%)、教養娯楽(-0.9%)などは下落している。

また、野菜、魚、果物など生鮮食料品を除いた指数では0.7%の上昇となつている。

水戸市の消費者物価指数 昭和35年=100

	総合	食料	穀類	その他の食料	住居	光熱	被服	雑費
昭和40年1月	130.9	134.1	126.5	137.1	126.1	105.2	136.1	128.9
“ “ 12月	134.0	132.7	130.0	133.7	135.9	105.9	143.6	138.7
“ 41年1月	137.9	140.3	137.9	141.3	135.8	106.2	142.8	138.5
対前月比(%)	2.9	5.7	6.1	5.7	-0.1	0.3	-0.6	-0.1
前年同月比(%)	5.4	4.6	9.0	3.1	7.7	1.0	4.9	7.5

これを費目別にみると

食料指数は140.3となり、前月の132.7と比べ5.7%の上昇となつた。これは米価の値上がりと野菜が品薄のためマメツ、にんじん、ごぼう、などを除いて全般に値上がりしたこと、果物で、みかんがかなり上がったためである。反面乾物では横ばいを続けてきた干しのみ、こんぶなど、調味料で砂糖、果物でりんご(国産)が値下りしている。

住居指数は135.8と前月の135.9に比べ0.1%の微落となつた。

光熱指数は106.2と前月の105.9に比べ0.3%と微騰したが、これは一部で木炭、れん炭、などの上昇があつたためである。

被服指数は142.8となり前月の143.6と比べ0.6%の下落となつたが、これは一部で背広冬服、男子冬オーバー子冬オーバーなどに季節的な値下りがあつたためであるが、婦人白たびなどは値上がりした。

雑費指数は138.5となり前月の138.7と比べ0.2%の微落となつた。

消費者物価指数 (大分類別)

昭和35年=100

年 月	総合	食料	住居	光熱	被服	雑費
昭和35年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
36年 “	105.7	106.6	110.7	99.5	102.6	104.0
37年 “	111.2	110.5	118.4	103.4	113.1	110.0
38年 “	119.5	121.1	119.4	104.1	120.8	115.7
39年 “	124.0	126.7	121.9	104.4	125.8	122.0
40年 “	136.6	141.2	131.8	105.2	139.4	138.7
昭和40年1月	130.9	134.1	126.1	105.2	136.1	128.9
“ 2月	132.1	136.3	126.1	105.2	135.9	128.7
“ 3月	134.2	139.6	128.2	105.1	136.4	129.0
“ 4月	137.1	143.0	131.2	104.3	136.2	130.0
“ 5月	138.0	143.5	131.8	105.1	140.5	130.0
“ 6月	139.7	146.6	133.1	105.1	138.8	130.0
“ 7月	138.7	144.9	133.0	105.1	138.9	130.0
“ 8月	136.7	141.1	133.0	105.1	138.9	130.0
“ 9月	142.5	151.1	133.4	105.3	141.3	130.0
“ 10月	140.5	145.9	134.6	105.3	142.6	130.0
“ 11月	135.5	135.7	135.6	105.5	144.0	130.0
“ 12月	134.0	132.7	135.9	105.9	143.6	130.0
昭和41年1月	137.9	140.3	135.8	106.2	142.8	130.0